



World Food Programme

Programme Alimentaire Mondial

Programa Mundial de Alimentos

برنامج الأغذية العالمي

2014年9月24日

報道関係各位

世界食糧デーに国連 WFP の写真展開催

「希望を求めて～セネガルとフィリピンの今～」撮影 関口照生

「国連 WFP の食糧支援」

期間：10月15日（水）～10月28日（火）

場所：ニコンプラザ仙台 フォトギャラリー、コミュニティスペース

飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関、国連 WFP では、10月16日の世界食糧デーを機に、10月15日（水）～10月28日（火）、ニコンプラザ仙台で国連 WFP の活動紹介と写真家関口照生が支援現場を訪問し撮影した作品の写真展を開催します。

「国連 WFP の食糧支援」（コミュニティスペース）では、国連 WFP が途上国で行う「学校給食プログラム」をはじめとする食糧支援の内容を写真で紹介。国連 WFP が支援の際に実際に配布する食糧（栄養強化ビスケット等）や現地の映像も含め、その活動を目で見て理解しやすく展示します。

同時に「希望を求めて～セネガルとフィリピンの今～」（フォトギャラリー）では、世界各地で様々な環境で暮らす人々を撮り続ける写真家関口照生による写真 20 点を展示。2013 年から 2014 年にかけて国連 WFP の現場取材で食糧危機に見舞われたセネガルと巨大台風に襲われたフィリピンを訪問。懸命に生きる人々の暮らしと子どもたちの表情を中心に、厳しい環境の中でも希望を持って生活する姿を撮影し、人間の生きる力とたくましさを伝えます。

2 つの展示は途上国の食糧支援の現状と現地の人々への理解を深める好機となっています。

◎本件の告知紹介およびご取材をお願いいたします。告知には、展示写真の一部をご使用いただけますので、お問合せください



撮影 関口照生

<実施概要>

日時：2014年10月15日（水）～10月28日（火）9:30～18:00

※最終日は 15:00 まで。日曜は休館。

※10月18日（土）、10月25日（土）のみコミュニティスペース閉場、ギャラリーは開場

入場：無料

場所：ニコンプラザ仙台 コミュニティスペース、フォトギャラリー

（宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1 AER（アエル）ビル 29F）

主催：特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）国連 WFP 協会（会長・安藤宏基）
協力：株式会社ニコン

■国連 WFP とは

国連 WFP は、飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関です。自然災害や紛争の被災者、妊婦や授乳中の母親、栄養不良の子ども、病人、老人など最も貧しい暮らしを余儀なくされている人を対象に食糧支援を行っています。2013 年は、75 カ国で 8,090 万人に食糧を届けました。支援活動には、人びとの命を守るための「緊急支援」、乳幼児の発育を助けるための「母子栄養支援」、教育の機会を広げるための「学校給食プログラム」などがあります。

国連 WFP は、国連機関である WFP 国連世界食糧計画と、それを支援する認定 NPO 法人である国連 WFP 協会という 2 つの団体の総称です。国連 WFP 協会は、募金活動、企業・団体との連携を進め、日本における支援の輪を広げています。

www.wfp.org/jp

■関口照生プロフィール

写真家/日本写真家協会 (J.P.S) 会員

倉敷芸術科学大学客員教授

コマーシャルや雑誌・写真集の撮影を中心にフリーフォトグラファーとして活動。世界の辺境を訪ねる TV 番組の取材をきっかけに、以後ライフワークとして世界各地で人々の取材を継続。

2013 年は日本スペイン交流 400 周年の年となり、支倉常長の足跡を取材し、写真展「支倉の道」を仙台市博物館、宮城県慶長使節船ミュージアムをはじめとする各地で開催。

作品集に「地球の笑顔」シリーズ、「支倉の道」等多数。

■世界食糧デー

世界の食糧問題を考える日として国連が制定した日です。一人一人が協力しあい、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。

本件に関するお問合せ先：認定 NPO 法人 国連 WFP 協会
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 6F
Tel: (045) 221-2515
イベントプロデューサー 山口 yamaguchi@jawfp.org
広報 岡田 okada@jawfp.org